

氏名	原木 万紀子	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	医療コミュニケーション、メディカルイラストレーション				
学位	博士（医学）、芸術学（修士）				
学歴	2010年東京学芸大学教育学部 芸術文化課程美術学科ビジュアルデザイン専攻、12年東京芸術大学大学院美術研究科 美術解剖学研究室修士課程、16年東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻医療コミュニケーション学教室博士課程				
経歴	2016年 立命館大学 共通教育推進機構 特別招聘准教授、16年東京工業大学大学院 リベラルアーツ研究学院 非常勤講師、19年東京大学大学院医学系科 公共健康医学専攻 非常勤講師				
所属学会（役職）	日本ヘルスコミュニケーション学会（代議員）、国際公共経済学会（理事）				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Investigation of suitable illustrations in medical care	共著	あり	J Vis Commun Med. 2019 Oct;42(4):158-168.	Haragi M, Ishikawa H, Kiuchi T.	Epub, 2019,08
2	Interviewing forensic specialists regarding medical-legal illustration methods to replace gruesome graphic evidence	共著	あり	J Vis Commun Med. 2020 Jan;43(1):27-34.	Haragi M, Yamaguchi R, Okuhara T, Kiuchi T.	Epub, 2019, 12
3	Publication Preview Source Questionnaire survey of a mock jury on their impressions of medical-legal illustrations aimed at reducing trauma and PTSD of jurors	共著	あり	J Vis Commun Med. 2020 Apr;43(2):67-75.	Haragi M, Yamaguchi R, Okuhara T, Kiuchi T.	Epub, 2020,01
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	裁判員の心理的負担軽減に向けた遺体写真の適切なイラストレーション化研究:色彩について	単独	第11回日本ヘルスコミュニケーション学会 学術集会, 東京	○原木万紀子	2019,9月	
2	患者・市民向けがん情報提供における効果的なイラストレーションの作成・活用に向けたインタビュー調査	共同	第11回日本ヘルスコミュニケーション学会 学術集会, 東京	○原木万紀子, 早川雅代, 高山智子	2019,9月	
3						
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽)	裁判員の心理的負担軽減に向けた遺体写真の適切なインフォグラフィック化研究		原木万紀子	2017-2019	
2	2019年度DNP文化振興財団 グラフィック文化に関する学術研究助成 採択研究	患者・市民向けがん情報提供における効果的なメディカルイラストレーションの作成・活用に向けた大規模アンケート調査		原木万紀子	2019-2020	
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	研究倫理セミナー	○	10	大学院生を対象に倫理セミナーを実施した		
2	医療から見る社会	○	8	医療社会学についてディスカッション形式の授業を実施（東京工業大学）		
3	サイエンスビジュアライゼーション	○	8	科学における数値情報の効果的な視覚化についての知識および実践ををジグソー法を通して実施した		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	Post Truth時代における“真実”とは何かを考える - Research & Discussion	○	15	1-4学年が自由に選択肢参加できる自由参加形式のゼミにて、医療課題を軸とした情報リテラシー課題について2コマテーマずつディスカッションを行い、最終的に希望するテーマについて掘り下げて調べ発表を行った。
2				
3				
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
2				
3				
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	名
2			主指導 (指導教員)	名
3			主指導 (指導教員)	名
			副指導	名
			副指導 (指導補助教員)	名
			副指導 (指導補助教員)	名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	右の色と左の色の間にある色を探しに- 創造するための小さなステップ	NOTH.JP	私塾NOTH.JPにて、こどもから参加できる美術に関する実践的な講座を開催した	2019年11月
2				
3				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
2				
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	該当なし			
2				
3				
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				